

## 1. 授業の目的と到達目標

大学院レベルの産業組織論の理論の基礎を学びます。クレプス教授のMBAコース用の教科書を用いてミクロ・産業組織の関わる様々な事例も紹介していきます。必ずしも学部で経済学を学んで来なかった人にも産業組織論の理論のエッセンスが理解できる事をを目的とします。産業組織論の専門論文が読めることが到達目標です。

## 2. 授業の内容

前期は<1>を講義していきます。価格理論をケーススタディーと共に学んでいきます。米国の事例に対応する日本の例も紹介します。後期は<2>を講義します。最初は選択の問題を取り扱います。後半はゲーム理論、情報の経済学、及び取引費用の経済学を学びます。時折問題演習を行います。

教科書が難しすぎるという学生が多ければマンキュー (2014)の入門レベルから学んでいきます。また、教科書が簡単であり英語の教科書でも問題ないという学生がいれば Tirole (1988)に換えます。学生のレベルに合わせた講義を行います。

## 3. 授業の方法

講義形式で適宜スライドを用います。大学院レベルのミクロ経済学や産業組織論の理論は、学部レベルを超えてさらに数学的に難しくなります。しかし、数学的な内容には拙著『経済数学入門—初歩から一歩ずつ—』(2017年春出版予定)のゲラで用いて理解を深めます。受講者に演習問題を解いてもらいます。時折、教科書の一部を発表してもらいます。

## 4. 成績評価の方法

授業の参加の状況と演習問題の成績に基づいて成績を付けます。

## 5. 教科書・参考書

- デビッド・M. クレプス (2008)『MBA のミクロ経済学入門〈1〉価格と市場』東洋経済新報社
- デビッド・M. クレプス(2009)『MBA のためのミクロ経済学入門〈2〉ゲーム・情報と経営戦略』東洋経済新報社
- Jean Tirole (1988),The Theory of Industrial Organization, The MIT Press
- N.グレゴリー マンキュー (2014)『マンキュー入門経済学 (第2版)』東洋経済新報社
- 武隈慎一編著, 金子浩一, 丹野忠晋, 小川浩, 原千秋, 山重慎二 (2005)『入門ミクロ経済学』ダイヤモンド社
- 丹野忠晋「経済数学入門—初歩から一歩ずつ— 全9回」『経済セミナー』2014年4・5月号～2015年8・9号日本評論社

## 6. 授業計画

### 【前期】

- 1 経営者のためのミクロ経済学とは？ モデルと分析，経済学の学び方
- 2 供給と需要 供給と需要，均衡，モデルとしての「供給＝需要」
- 3 限界分析 経済学者のように考える：限界量への注目
- 4 需要関数 企業は需要関数を知っているのか？，弾力性
- 5 消費者行動のモデリング 消費者の問題：「支出に見合う価値」の均等化
- 6 流通チャネルと二重マージンの問題 ポルシェ社の事例，2 段階流通の単純モデル
- 7 価格差別（と消費者余剰の吸収） グループによる差別化
- 8 問題演習：前半の問題を解きます
- 9 平均費用と限界費用 平均収入関数（逆需要関数）と限界収入関数
- 10 生産技術と費用最小化 技術をモデル化する
- 11 生産期間と生産費 現在の利益と将来の利益
- 12 完全競争企業と完全競争 完全競争企業と市場均衡
- 13 市場の効率性 消費者余剰と生産者余剰
- 14 市場介入：課税，補助金，管理価格 上限価格と家賃統制，数量割当と関税
- 15 外部性 なぜ外部性が非効率性をもたらすのか？

### 【後期】

- 1 リスク回避と期待効用 個人は不確実性にどのように対応するのか？
- 2 期待効用モデルの有効性 期待効用モデルの正当化，それでも信じられないわけ
- 3 リスク・シェアリングとリスクの分散化 リスクをつねに広く分散化できない理由
- 4 シグナリングとスクーリング 1 隠された情報と逆選択，平均の選択
- 5 シグナリングとスクーリング 2 どんなタイプの情報があるか？，シグナリング均衡
- 6 インセンティブ リスク・シェアリングと動機づけのトレード・オフ関係
- 7 ポーターの五つの競争要因 業界とは何か？重要なニッチはどこか？
- 8 問題演習：前半の問題を解きます
- 9 非協力ゲーム 1 ナッシュ均衡
- 10 非協力ゲーム 2 展開形ゲームにおけるバックワード・インダクション
- 11 協調と共謀 1 協調のゲーム論的な分析：フォーク定理
- 12 協調と共謀 2 フォーク定理のその他の応用例
- 13 信認と評判 1 評判
- 14 信認と評判 2 独占企業の苦難とその救済
- 15 取引費用の経済学と企業の理論 取引費用の経済学  
ント，隠された性質